



2021年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年10月27日

上場会社名 株式会社サイバーエージェント 上場取引所 東
 コード番号 4751 URL https://www.cyberagent.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役 代表執行役員 社長 (氏名)藤田 晋
 問合せ先責任者 (役職名)取締役 専務執行役員 (氏名)中山 豪 (TEL) 03-5459-0202
 定時株主総会開催予定日 2021年12月10日 配当支払開始予定日 2021年12月13日
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月10日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (ライブ配信のみ)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期の連結業績(2020年10月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	666,460	39.3	104,381	208.1	104,694	209.2	41,553	528.8
2020年9月期	478,566	5.5	33,880	9.9	33,863	11.1	6,608	289.9

(注) 包括利益 2021年9月期 65,376百万円(224.2%) 2020年9月期 20,166百万円(255.7%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	82.30	77.90	38.1	32.5	15.7
2020年9月期	13.10	12.28	7.8	13.9	7.1

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 △314百万円 2020年9月期 △367百万円

(注) 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	382,578	194,145	33.7	254.98
2020年9月期	260,766	127,678	34.3	177.45

(参考) 自己資本 2021年9月期 128,883百万円 2020年9月期 89,528百万円

(注) 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	109,609	△28,537	374	184,082
2020年9月期	37,028	△16,621	△2,590	102,368

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	—	0.00	—	8.50	8.50	4,288	64.9	5.1
2021年9月期	—	0.00	—	11.00	11.00	5,560	13.4	5.1
2022年9月期(予想)	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 1. 当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。これに伴い、2020年9月期の期末及び2021年9月期の期末配当金については、当該株式分割を考慮した金額で記載しております。なお、当該株式分割を考慮しない場合の2021年9月期の期末配当金は、44円となります。

(注) 2. 2022年9月期の配当金につきましては、現在未定です。

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日~2022年9月30日)

進化の早いインターネット産業の中、これまで業績予想を継続的に開示してまいりましたが、2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日~2022年9月30日)は、特にゲーム事業において、既存ゲームの運用状況や新規ゲームの提供開始日より大きな業績変動が見込まれることから、業績見通しについて適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、現時点では業績予想の開示を見合わせます。なお、今後の進捗を踏まえ、算定が可能になり次第速やかに開示いたします。詳細は、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期	505,706,400株	2020年9月期	505,706,400株
② 期末自己株式数	2021年9月期	251,404株	2020年9月期	1,190,968株
③ 期中平均株式数	2021年9月期	504,905,332株	2020年9月期	504,273,941株

(注)当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、発行済株式数（普通株式）を算定しております。

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	314,857	20.8	18,158	28.6	25,657	13.8	△69,028	—
2020年9月期	260,611	6.0	14,122	△3.9	22,554	△5.1	17,723	9.9
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年9月期	△136.71		—					
2020年9月期	35.14		33.19					

(注)当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。このため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」及び「潜在株式調整後1株当たり当期純利益」を算定しております。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭	円 銭	
2021年9月期	124,633		34,972	27.0	66.63			
2020年9月期	189,322		108,741	56.9	213.62			

(参考) 自己資本 2021年9月期 33,683百万円 2020年9月期 107,777百万円

(注)当社は、2021年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。このため、前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり純資産」を算定しております。

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	6
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(表示方法の変更)	11
(追加情報)	12
(セグメント情報等)	12
(1株当たり情報)	15
(重要な後発事象)	15

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、スマートフォン市場の成長を取り込む一方で、中長期の柱に育てるため「ABEMA」への投資をしつつ、当連結会計年度における売上高は666,460百万円（前年同期比39.3%増）、営業利益は104,381百万円（前年同期比208.1%増）、経常利益は104,694百万円（前年同期比209.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は41,553百万円（前年同期比528.8%増）となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

①メディア事業

メディア事業には、「ABEMA」、「WINTICKET」、「Ameba」等が属しております。

新しい未来のテレビ「ABEMA」への投資をしつつ、売上高は82,869百万円（前年同期比45.1%増）、営業損益は15,141百万円の損失計上（前年同期間18,267百万円の損失計上）となりました。

②インターネット広告事業

インターネット広告事業には、インターネット広告事業本部、AI事業本部、(株)CyberZ等が属しております。

広告効果の最大化を強みに、過去最高の売上高を更新し、売上高は321,313百万円（前年同期比19.3%増）、営業損益は22,570百万円の利益計上（前年同期比7.1%増）となりました。

③ゲーム事業

ゲーム事業には、(株)Cygames、(株)Craft Egg、(株)サムザップ、(株)アプリボット等が属しております。

新規タイトルが大きく貢献し、売上高は262,751百万円（前年同期比68.6%増）、営業損益は96,445百万円の利益計上（前年同期比217.9%増）となりました。

④投資育成事業

投資育成事業にはコーポレートベンチャーキャピタル、(株)サイバーエージェント・キャピタルにおけるファンド運営等が属しており、売上高は6,441百万円（前年同期比57.4%増）、営業損益は4,408百万円の利益計上（前年同期比43.7%増）となりました。

⑤その他事業

その他事業には、(株)マクアケ、(株)CAM、(株)ゼルビア等が属しており、売上高は21,744百万円（前年同期比10.9%増）、営業損益は479百万円の利益計上（前年同期比63.1%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末における総資産は382,578百万円（前連結会計年度末比121,812百万円の増加）となりました。これは、主に利益の拡大に伴う現金及び預金の増加によるものであります。

負債は188,433百万円（前連結会計年度末比55,344百万円の増加）となりました。これは、主に買掛金及び未払法人税の増加によるものであります。

純資産は194,145百万円（前連結会計年度末比66,467百万円の増加）となりました。これは、主に親会社株主に帰属する当期純利益の計上に伴う利益剰余金の増加によるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末と比べて81,714百万円増加し、184,082百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは109,609百万円の増加（前年同期間は37,028百万円の増加）となりました。これは、主に利益の計上及び法人税等の支払によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは28,537百万円の減少（前年同期間は16,621百万円の減少）となりました。これは、主に投資有価証券の取得によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは374百万円の増加（前年同期間は2,590百万円の減少）となりました。これは、主に配当金の支払いと非支配株主からの払込みによる収入によるものであります。

(4) 今後の見通し

当社グループは「新しい力とインターネットで日本の閉塞感を打破する」をパーパスに掲げ、インターネット産業を軸足に事業拡大を続けてきました。

インターネット広告事業とゲーム事業で利益を積み上げ、メディア事業に十分な投資をし、新しい未来のテレビ「ABEMA」を中長期の柱に育てています。メディア事業においては「ABEMA」のWAU（ウィークリーアクティブユーザー）を継続的に伸ばしつつ、周辺事業を含めたマネタイゼーションの強化、インターネット広告事業においては、運用力と技術力を強みにシェア拡大に努め、ゲーム事業においては既存ゲームの運用強化と新規ゲームにおけるヒットの創出を目指していきます。

2022年9月期の連結業績予想（2021年10月1日～2022年9月30日）は、特にゲーム事業において、既存ゲームタイトルの運用状況や新規ゲームの開発状況や提供開始日によって、大きな業績変動が見込まれることから、業績見通しについて適正かつ合理的な数値の算出が困難であると判断し、現時点では業績予想を非開示とさせていただきます。今後の進捗を踏まえ、算定が可能になり次第速やかに開示いたします。

また、2022年9月期の配当予想につきましても、引き続き経営指標の「DOE 5%」を目安にしつつも、現時点での開示を見合わせることにいたしました。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、会計基準につきましては日本基準を適用しております。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	102,368	181,451
受取手形及び売掛金	58,550	75,300
たな卸資産	2,078	3,226
営業投資有価証券	24,096	18,969
その他	16,674	22,832
貸倒引当金	△93	△130
流動資産合計	203,674	301,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,025	9,761
工具、器具及び備品(純額)	4,655	5,221
その他	560	1,757
有形固定資産合計	13,241	16,740
無形固定資産		
のれん	1,192	4,957
ソフトウェア	8,710	10,814
ソフトウェア仮勘定	14,004	8,766
その他	601	1,903
無形固定資産合計	24,509	26,442
投資その他の資産		
投資有価証券	8,186	22,061
長期貸付金	356	492
繰延税金資産	5,875	8,454
その他	4,893	6,792
貸倒引当金	△14	△97
投資その他の資産合計	19,296	37,702
固定資産合計	57,047	80,885
繰延資産	44	42
資産合計	260,766	382,578

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,966	56,055
未払金	13,519	17,735
短期借入金	1,080	1,037
未払法人税等	9,458	29,723
その他	20,844	36,162
流動負債合計	87,867	140,714
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	40,331	40,228
長期借入金	22	1,174
勤続慰労引当金	1,586	1,851
資産除去債務	1,851	1,974
繰延税金負債	1,414	1,293
その他	13	1,196
固定負債合計	45,220	47,718
負債合計	133,088	188,433
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,203	7,203
資本剰余金	8,048	11,198
利益剰余金	63,529	100,794
自己株式	△315	△67
株主資本合計	78,466	119,128
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,952	9,517
為替換算調整勘定	109	237
その他の包括利益累計額合計	11,062	9,755
新株予約権	977	1,320
非支配株主持分	37,171	63,940
純資産合計	127,678	194,145
負債純資産合計	260,766	382,578

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	478,566	666,460
売上原価	337,918	434,465
売上総利益	140,648	231,995
販売費及び一般管理費	106,768	127,613
営業利益	33,880	104,381
営業外収益		
受取利息	135	135
受取配当金	118	341
為替差益	—	150
その他	264	234
営業外収益合計	519	861
営業外費用		
支払利息	14	17
持分法による投資損失	367	314
貸倒引当金繰入額	—	84
その他	154	132
営業外費用合計	536	548
経常利益	33,863	104,694
特別利益		
関係会社株式売却益	79	1,578
受取保険金	—	429
その他	9	193
特別利益合計	88	2,201
特別損失		
減損損失	4,589	5,102
その他	1,159	1,071
特別損失合計	5,749	6,173
税金等調整前当期純利益	28,202	100,722
法人税、住民税及び事業税	15,218	36,523
法人税等調整額	△1,272	△2,472
法人税等合計	13,945	34,051
当期純利益	14,257	66,671
非支配株主に帰属する当期純利益	7,648	25,117
親会社株主に帰属する当期純利益	6,608	41,553

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純利益	14,257	66,671
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,865	△1,383
為替換算調整勘定	△58	183
持分法適用会社に対する持分相当額	102	△95
その他の包括利益合計	5,909	△1,295
包括利益	20,166	65,376
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	12,517	40,246
非支配株主に係る包括利益	7,649	25,129

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,203	6,181	61,090	△459	74,015
当期変動額					
剰余金の配当			△4,157		△4,157
自己株式の処分		130		144	274
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		1,736			1,736
連結範囲の変動			△11		△11
親会社株主に帰属する当期純利益			6,608		6,608
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1,867	2,439	144	4,450
当期末残高	7,203	8,048	63,529	△315	78,466

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	5,000	152	5,153	925	30,258	110,352
当期変動額						
剰余金の配当						△4,157
自己株式の処分						274
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						1,736
連結範囲の変動						△11
親会社株主に帰属する当期純利益						6,608
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	5,952	△42	5,909	52	6,913	12,874
当期変動額合計	5,952	△42	5,909	52	6,913	17,325
当期末残高	10,952	109	11,062	977	37,171	127,678

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	7,203	8,048	63,529	△315	78,466
当期変動額					
剰余金の配当			△4,288		△4,288
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		201		247	449
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		2,948			2,948
連結範囲の変動			△0		△0
親会社株主に帰属する当期純利益			41,553		41,553
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	3,149	37,264	247	40,662
当期末残高	7,203	11,198	100,794	△67	119,128

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計			
当期首残高	10,952	109	11,062	977	37,171	127,678
当期変動額						
剰余金の配当						△4,288
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						449
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動						2,948
連結範囲の変動						△0
親会社株主に帰属する当期純利益						41,553
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,434	127	△1,307	342	26,769	25,805
当期変動額合計	△1,434	127	△1,307	342	26,769	66,467
当期末残高	9,517	237	9,755	1,320	63,940	194,145

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	28,202	100,722
減価償却費	8,719	10,111
減損損失	4,589	5,102
関係会社株式売却損益(△は益)	△79	△1,438
売上債権の増減額(△は増加)	△3,620	△16,525
仕入債務の増減額(△は減少)	4,802	12,778
前受金の増減額(△は減少)	3,553	3,396
未払金の増減額(△は減少)	3,119	3,943
未払消費税等の増減額(△は減少)	184	10,549
その他	1,015	△1,588
小計	50,487	127,050
利息及び配当金の受取額	149	373
利息の支払額	△14	△17
法人税等の支払額	△13,594	△17,797
営業活動によるキャッシュ・フロー	37,028	109,609
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,095	△3,834
無形固定資産の取得による支出	△9,939	△8,632
投資有価証券の取得による支出	△501	△10,999
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△5,356
連結の範囲の変更を伴う関係会社株式の売却による収入	—	1,780
その他	△2,084	△1,495
投資活動によるキャッシュ・フロー	△16,621	△28,537
財務活動によるキャッシュ・フロー		
非支配株主からの払込みによる収入	2,001	4,016
配当金の支払額	△4,157	△4,290
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	1,875	1,454
その他	△2,309	△805
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,590	374
現金及び現金同等物に係る換算差額	△39	267
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	17,777	81,714
現金及び現金同等物の期首残高	84,563	102,368
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	27	—
現金及び現金同等物の期末残高	102,368	184,082

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(表示方法の変更)

(連結貸借対照表)

前連結会計年度において、区分掲記していた有形固定資産の「減価償却累計額」は当連結会計年度において、連結財務諸表の明瞭性を高めるため、各資産項目の金額から直接控除して表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結財務諸表において、有形固定資産に表示していた「建物及び構築物」9,893百万円、「減価償却累計額」△1,867百万円、「工具、器具及び備品」12,123百万円、「減価償却累計額」△7,467百万円は、「建物及び構築物(純額)」「工具、器具及び備品(純額)」として組替えております。

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、区分掲記していた営業外収益の「投資有価証券評価益」及び「助成金収入」は、当連結会計年度において、営業外収益の総額の100分の10以下となったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、営業外収益の「投資有価証券評価益」に表示していた132百万円及び「助成金収入」に表示していた63百万円は「その他」として組替えております。

前連結会計年度において、区分掲記していた特別利益の「固定資産売却益」は、当連結会計年度において、特別利益の総額の100分の10以下となったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、特別利益の「固定資産売却益」に表示していた9百万円は「その他」として組替えております。

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示していた「未払消費税等の増減額(△は減少)」「関係会社株式売却損益(△は益)」は、当連結会計年度において、重要性が増したため、区分掲記しております。

また、前連結会計年度において、区分掲記していた営業活動によるキャッシュ・フローの「営業投資有価証券の増減額(△は増加)」は、当連結会計年度において、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた2,367百万円は、「未払消費税等の増減額(△は減少)」184百万円、「関係会社株式売却損益(△は益)」△79百万円、「その他」2,261百万円として組み替えたうえで、「営業投資有価証券の増減額(△は増加)」に表示していた△1,246百万円は、「その他」として組替えております。

前連結会計年度において、投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に含めて表示していた「投資有価証券の取得による支出」は、当連結会計年度において、重要性が増したため、区分掲記しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、投資活動によるキャッシュ・フローの「その他」に表示していた△2,586百万円は、「投資有価証券の取得による支出」△501百万円、「その他」△2,084百万円として組替えております。

前連結会計年度において、区分掲記していた財務活動によるキャッシュ・フローの「子会社の自己株式の取得による支出」は、当連結会計年度において、重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、財務活動によるキャッシュ・フローの「子会社の自己株式の取得による支出」に表示していた△1,696百万円は、「その他」として組替えております。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(2020年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目は、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(セグメント情報等)

a. セグメント情報

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、商品・サービス別の事業本部及び子会社を置き、各事業本部及び子会社は、サービスの向上と売上及び利益の拡大を目指し、国内外で事業活動を展開しております。

したがって、当社は、事業本部及び子会社を基礎としたサービス別のセグメントから構成されており、「メディア事業」、「インターネット広告事業」、「ゲーム事業」、「投資育成事業」、「その他事業」の5つを報告セグメントとしております。

各セグメントに属するサービスの内容は、以下のとおりであります。

報告セグメント	属するサービスの内容
メディア事業	ABEMA、WINTICKET、Ameba等
インターネット広告事業	広告事業、AI事業、DX事業等
ゲーム事業	スマートフォン向けゲーム事業等
投資育成事業	コーポレートベンチャーキャピタル事業、ファンド運営等
その他事業	スマートフォンサービス事業、スポーツ事業運営等

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	メディア	インター ネット 広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	49,625	251,446	155,517	4,092	17,885	478,566	—	478,566
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	7,473	17,949	344	—	1,713	27,481	△27,481	—
計	57,098	269,396	155,861	4,092	19,599	506,048	△27,481	478,566
セグメント利益又は損失 (△)	△18,267	21,071	30,337	3,068	1,300	37,510	△3,630	33,880

(注)セグメント利益の調整額△3,630百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	メディア	インターネ ット広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	76,128	302,083	262,365	6,441	19,441	666,460	—	666,460
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	6,740	19,229	385	—	2,302	28,658	△28,658	—
計	82,869	321,313	262,751	6,441	21,744	695,119	△28,658	666,460
セグメント利益又は損失 (△)	△15,141	22,570	96,445	4,408	479	108,763	△4,381	104,381

(注)セグメント利益の調整額△4,381百万円は全社費用等であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

b. 関連情報

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%を占める相手先がないため、記載を省略しております。

c. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	インターネット 広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
減損損失	85	299	3,942	—	192	4,519	69	4,589

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	インターネット 広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
減損損失	1,705	790	2,100	—	447	5,044	57	5,102

d. 報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	インターネット 広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
当期償却額	—	—	59	—	122	182	—	182
当期末残高	—	0	389	—	803	1,192	—	1,192

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント						全社・消去	合計
	メディア	インターネット 広告	ゲーム	投資育成	その他	計		
当期償却額	—	—	59	—	127	187	—	187
当期末残高	—	—	329	—	4,627	4,957	—	4,957

e. 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	177円45銭	254円98銭
1株当たり当期純利益金額	13円10銭	82円30銭
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益金額	12円28銭	77円90銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	6,608	41,553
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益金額(百万円)	6,608	41,553
普通株式の期中平均株式数(株)	504,273,941	504,905,332
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する 当期純利益調整額(百万円)	△76	△73
(うち受取利息(税額相当額控除後)(百万円))	(△71)	(△71)
(うち子会社の発行する潜在株式による調整額 (百万円))	(△5)	(△1)
普通株式増加数(株)	27,463,293	27,572,361
(うち転換社債型新株予約権付社債(株))	(25,143,068)	(25,143,070)
(うち新株予約権(株))	(2,320,225)	(2,429,291)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当 たり当期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式 の概要	—	—

(注) 2021年4月1日付で普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。このため、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産額及び1株当たり当期純利益金額並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額を算定しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。